

いしかわ型環境価値創造 産業創出エリア

織物技術を活用した熱可塑性炭素繊維複合材料の一大生産拠点の形成

参画機関 (太字はプログラム実施機関)

産…石川県鉄工機電協会、
石川県繊維協会 ほか
学…**金沢大学**、**金沢工業大学**
官…**石川県産業創出支援機構**、
石川県工業試験場
金…北國銀行 ほか

地域イノベーション戦略

石川県では、本地域が有する繊維産業の織物・染色加工技術、機械産業のプレス加工技術などのモノづくり産業の技術力や大学等研究機関の知見といった強みを最大限に活かし、自動車部材等へ適用することによる二酸化炭素排出削減などへの貢献が大いに期待される炭素繊維分野での技術・製品開発を推進してきました。

本取り組みの更なる加速のため、専門の研究者の招へいや人材育成、機器の共用化や事業を推進するコーディネータを配置し、炭素繊維複合材料の一大生産拠点の構築を目指します。



プロジェクトディレクター
金原 勲

略歴：東京大学工学部教授を経て、平成13年金沢工業大学教授に就任。専門分野は複合材料工学、実験・計算力学、非破壊検査工学、信頼性工学。

本事業では、地域イノベーション戦略に向けて、本戦略支援プログラムや地域産業に特有の技術を織り交ぜて推進することで、熱可塑性炭素繊維複合材料の製造技術の確立を図り、さらに「織物技術を活用した熱可塑性炭素繊維複合材料の一大生産拠点の形成」を目指していきます。

事業の内容

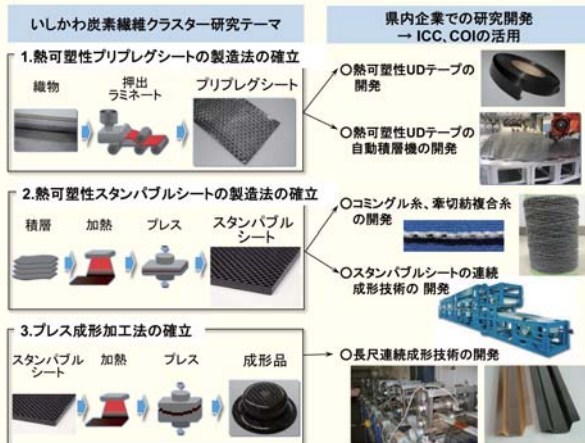
【全体計画及び成果】

本事業では「ヒト(人材)、モノ(設備)、カネ(資金)」三位一体の体制で、目標に向けた研究開発・事業化・人材育成計画を立案し、これまでに県内企業の技術力向上や外部資金獲得の支援等により研究開発を推進、展示会への出展や個別企業へのニーズ調査等により事業化戦略を展開、セミナーや研修等の開催による県内の企業技術者を育成してきました。

さらに事業開始2年目の平成25年度には金沢工業大学に「革新複合材料研究開発センター(ICC)」が整備され、独立行政法人科学技術振興機構「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」へ採択されたことによる研究開発の加速、また中間基材であるスタンパブルシートの求評・販売等の事業化の取組開始が特記されます。

【実施する支援メニュー】

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積
(実施機関：金沢工業大学、金沢大学)
熱可塑性炭素繊維複合材料分野で日本屈指の専門性・実績を持つ研究者を招へいしています。
2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施(実施機関：石川県産業創出支援機構)
企業研究者・技術者育成およびレベルアップのためのプログラム開発担当者を配置しています。
3. 大学等の知のネットワークの構築
(実施機関：石川県産業創出支援機構)
研究開発コーディネータ、事業化コーディネータなど、経験豊富な人材を配置しています。
4. 地域の大学等研究機関での研究設備機器等の共用化
(実施機関：石川県工業試験場)
企業の裾野拡大のため、研究拠点「いしかわ次世代産業創出支援センター」の利用を支援する人材を配置しています。



	所属	氏名
総括研究者	金沢工業大学 教授	輪澤 潔
共同研究者	金沢大学 教授	米山 猛
研究者	金沢工業大学	ガブラ・モハメド (研究テーマ1)
		石田 応輔 (研究テーマ2)
		パチャラット・ウオンシーラクサー (研究テーマ2)
	金沢大学	布谷 勝彦 (研究テーマ3)
	立野 大地 (研究テーマ3)	
統括コーディネータ		西原 正浩
研究開発コーディネータ	(公財)石川県産業創出支援機構	齊藤 義弘
事業化コーディネータ		松田 弥
人材育成プログラム開発者	(公財)石川県産業創出支援機構	田中 順二
技術支援スタッフ	石川県工業試験場	上田 久博
		栗山 亘